

「信州の伝統野菜」伝承地栽培認定要領

（目的）

第1 この要領は、信州伝統野菜認定事業実施要綱（以下「要綱」という。）第7条の規定により、「信州の伝統野菜」のリスト掲載及び伝承地栽培認定の基準を定め、信州伝統野菜認定委員会（以下「委員会」という。）がこの基準に適合する伝統野菜を審査することを目的とする。

（認定対象）

第2 認定の対象は、要綱第2条第1項によりリスト掲載した野菜とする。

（申請者）

第3 申請者は、要綱第2条第1項によりリスト化した「信州の伝統野菜」を生産または生産指導する生産組織・農業者団体・市町村・その他委員会が認める者で、「信州の伝統野菜」の継承発展及び「信州の伝統野菜」による地域の振興を目指す者とする。

2 生産組織が申請する場合は、原則として1品種について市町村内で1生産組織とし、市町村の協力が得られるものとする。市町村は、当該伝統野菜が地域の貴重な資源であることや、伝統野菜の栽培を通じた地域振興を図る観点から、生産組織のとりまとめに積極的に関与することが望ましい。

（生産者の基本姿勢）

第4 生産者は、気象風土に適した適地適作で栽培すると共に、地域における伝統的な農法を踏まえ信州の伝統野菜が持つ本来の特性を発揮できる栽培に努めるものとする。

（リスト掲載及び伝承地栽培認定の基準）

第5 「信州の伝統野菜」のリスト掲載及び伝承地栽培認定基準は別表1及び別表2のとおりとする。

（申請）

第6 要綱第9条の規定による申請は、県が別に定める期日までに「信州の伝統野菜」伝承地栽培認定申請書（様式1）を申請者の住所を管轄する地域振興局長（以下「地域振興局長」という。）を經由して県に1部提出するものとする。

2 収穫後は、速やかに伝承地栽培認定野菜栽培実績等報告書（様式2）を地域振興局長を經由して県に1部提出するものとする。

（申請の取消し）

第7 申請者は、「信州の伝統野菜」伝承地栽培認定申請書を提出した後、第9条第1号に規定する委員会による書類審査実施前までの間において、「信州の伝統野菜」伝承地栽培認定申請取下げ書（様式3）を地域振興局長を經由して県に1部提出することをもって申請を取り下げることができるものとする。

2 県は、申請者からの申請取下げがあった場合、申請の取消しを認めるものとする。

（審査方法及び審査基準）

第8 要綱第10条の規定による審査は、次の各号に掲げるところによる。

（1）委員会は、提出された「信州の伝統野菜」伝承地栽培認定申請について書類審査を行うものとする。

（2）委員会は、認定基準の確認及び申請書記載事項の確認のため、必要に応じて現地調査を行うものとする。

（3）現地調査は、委員会のほか県が実施できるものとする。

（4）県は、書類審査及び現地調査の結果を地域振興局長を經由して申請者に通知する。

(認定)

第9 要綱第12条の規定による認定は、委員会の審査に合格した伝統野菜について、長野県が行い、認定書(様式4)を地域振興局を経由して交付するものとする。

なお、認定の期間は3年とする。

(信州の伝統野菜の表示)

第10 要綱第14条による伝承地栽培認定野菜の表示は、別に定める。

(認定台帳)

第11 長野県は、「信州の伝統野菜」伝承地栽培認定台帳(様式5)を作成し、保管するものとする。

(認定品のPR)

第12 認定申請者は、地域の誇りうる味として「信州の伝統野菜」のPRに努めるものとする。

付則

(施行期日)

この要領は、平成19年4月1日から施行する。

この要領は、平成19年5月10日から施行する。

この要領は、平成22年12月27日から施行する。

この要領は、平成29年3月31日から施行する。

この要領は、平成31年3月31日から施行する。

この要領は、令和2年11月26日から施行する。

この要領は、令和3年3月17日から施行する。

この要領は、令和4年3月17日から施行する。

(別表 1) (認定要領第 5 関係)

【「信州の伝統野菜」リスト掲載基準】

基準項目	基準
来歴	○地域の気候風土に育まれ、昭和 30 年代以前から栽培されている品種であること。
食文化	○当該品種に関する信州の食文化を支える行事食・郷土食が伝承されていること。
品種特性	○当該野菜固有の品種特性が明確になっていること。

(別表 2) (認定要領第 5 関係)

【伝承地栽培認定基準】

基準項目	基準	審査・確認方法
地域基準	○当該品種及び当該品種に関する信州の食文化を支える行事食・郷土食が伝承されてきた地域として、委員会が確認した範囲とする。	○書類審査 申請書及び実績報告書で確認 ○現地審査 必用に応じて実施
生産基準	種子・種苗	○当該品種、または当該品種内で改良された品種であること。 ○書類審査 同上 ○現地調査 同上
	栽培方法	○環境と調和した伝統的な栽培を踏まえつつ、当該品種固有の特性が発揮される方法により栽培され、安全安心を担保するため生産履歴が明確となっていること。 ○書類審査 同上 ○現地調査 同上
	生産体制	○継続的な生産体制が整っていること。 ○個々の品質規格に基づく出荷が行なわれること。 ○書類審査 同上 ○現地調査 同上

(様式 1)

「信州の伝統野菜」伝承地栽培認定申請書

令和 年 月 日		(名称及び代表者氏名)		
長野県知事	様	申請者	住所 〒 -	
			電話：()- - 、FAX：()- - Eメールアドレス：	
信州伝統野菜認定事業実施要綱第 9 条及び「信州の伝統野菜」伝承地栽培認定要領第 6 の規定により次のとおり申請します。 なお、認定期間中の毎年度、収穫後に栽培実績等報告書を速やかに提出します。				
1 認定野菜の名称	(ふりがな) 種類	(ふりがな) 品種名		
2 生産者名及び生産ほ場 (生産者が複数の場合は別紙 1 - 1 に記入)	氏 名	栽培ほ場所在地 (字名まで記入)	合計ほ場面積・ 生産見込み収量	
			アール k g	
	標 高： ~ メートル			
	添付書類：ほ場位図 (ほ場位置が特定できる縮尺とする)			
3 種子・種苗 (該当する項目に○印のうえ必要事項を記載)	採種方法	(採種方法毎に記載する。複数で記入できない場合は別葉で作成する。)		
	自家採種 共同採種 委託採種等	採種者住所・名称 (個人の場合は氏名) 採種者住所・名称 (個人の場合は氏名) 採種者住所・名称 (個人の場合は氏名) 生産者による委託先母株の形質等の確認状況も記載する。		
	種苗法による品種登録の有無	<input type="checkbox"/> 有 (登録品種名：) (登録番号：) <input type="checkbox"/> 無		
4 栽培方法	別紙 1 - 2 (計画) のとおり			
5 生産体制	生産を継続する体制の状況	(具体的内容の記載又は生産組合等の規約等の写しを添付する)		
	生産計画	令和__年度	翌年度	翌々年度
		_____アール _____Kg	_____アール _____Kg	_____アール _____Kg
品質規格	(具体的内容の記載又は規格基準が記載された資料を添付する)			

6 認定証票使用計画	作成計画 (枚)	1年目 枚、 2年目 枚、 3年目 枚
	使用数量 (枚)	1年目 枚、 2年目 枚、 3年目 枚
	証票の表示方法 (該当する事項に ○印をすること)	農産物へ直接貼付 容器包装類へ印刷 その他 (具体的に :)
	証票の作成方法	印刷会社へ作成依頼 (自己作成は認めないものとする)

(別紙 1 - 1)

(生産者が複数となる場合に記入)

伝承地栽培認定野菜 生産者一覧

生産者番号・氏名	住所	栽培ほ場所在地 (字名まで記入)	合計ほ場面積・ 生産見込み数量
1			アール k g
2			アール k g
3			アール k g
4			アール k g
5			アール k g
6			アール k g
7			アール k g
8			アール k g
合計			アール k g

添付書類：生産者ごとのほ場位置図（申請ほ場一括又は生産者ごとに作成。縮尺は、ほ場位置が特定できる縮尺とする）

（生産者番号が足りない場合は、適宜本様式のほ場番号を追加して使用してください。）

伝承地栽培認定野菜 栽培方法（計画・実績）

栽培総面積	面積 計	アール				
	内 訳	露地	アール、雨よけ	アール、その他()	アール	
は 種 時 期	令和 年 月 日～ 月 日					
定 植 時 期	令和 年 月 日～ 月 日					
収 穫 時 期	令和 年 月 日～ 月 日					
当該野菜固有の (伝統的な) 栽培方法 *						
農薬使用*	区 分	①	②	③	④	
	殺菌剤	農薬名				
		使用月日				
	殺虫剤	農薬名				
		使用月日				
	除草剤	農薬名				
		使用月日				
その他の化学合成 農薬 *						
土づくり資材等の使用	(堆肥、土壌改良用資材の名称、施肥量を記載)					

		肥料名等
肥料施用*	基肥	肥料名： 実施月日： / ~ / 施用量： kg・ml/10 a
		肥料名： 実施月日： / ~ / 施用量： kg・ml/10 a
		肥料名： 実施月日： / ~ / 施用量： kg・ml/10 a
		肥料名： 実施月日： / ~ / 施用量： kg・ml/10 a
	追肥	肥料名： 実施月日： / ~ / 施用量： kg・ml/10 a
		肥料名： 実施月日： / ~ / 施用量： kg・ml/10 a
		肥料名： 実施月日： / ~ / 施用量： kg・ml/10 a
		肥料名： 実施月日： / ~ / 施用量： kg・ml/10 a

注：*当該野菜固有の栽培方法は、ほ場の選択、畑の準備、施肥、うね立て、播種、植栽密度、間引き、除草、かん水、病虫害防除、収穫、選別作業、出荷、残渣処理、その他について、伝統的な栽培を踏まえた当該品種固有の特性が発揮される方法について記載する。

*ほ場が複数あり、ほ場によって農薬使用・肥料施用が異なる場合は、最も多いほ場の使用状況を記載する。

*計画時に使用する農薬を特定できない場合は、使用する可能性のある農薬名、肥料名を複数記載すること。(「〇〇、〇〇のいずれか」と記載する。)

*肥料成分(N-P-K)が分かる場合は、肥料名の後にその数値を記載する。

*記入欄が不足する場合は、適宜欄の追加又は別紙にて整理する。

(様式 2)

「信州の伝統野菜」伝承地栽培認定野菜 栽培実績等報告書

令和 年 月 日		(名称及び代表者氏名)
長野県知事	様	申請者
		住所 〒 -
		電話：()- - 、FAX：() - -
		Eメールアドレス：
信州伝統野菜認定事業実施要綱第 19 条の規定により次のとおり報告します。		
1 認定野菜の名称	(ふりがな) 種 類	(ふりがな) 品 種 名
2 生産者名及び生産ほ場	氏 名	栽培ほ場所在地 (字名まで記入)
(生産者が複数の場合は別紙 1 - 1 に記入)		合計ほ場面積・ 生産見込み収量
		a
		k g
	標 高： ~ メートル	
	添付書類：ほ場位図 (ほ場位置が特定できる縮尺とする)	
3 種子・種苗	※認定申請書で採種方法を「委託採種等」としている場合 委託先への母株の形質等の確認状況 実施日：令和 年 月 日 確認方法： 生産者による自家採種の実施 有・無	
4 栽培方法	別紙 1 - 2 (実績) のとおり	
5 認定証票使用実績	作成実績 (枚)	枚
	使用数量 (枚)	枚
(使用状況の分かるチラシ又は写真等を添付)	証票の表示方法 (該当する事項に○ 印をすること)	農産物へ直接貼付 容器包装類へ印刷 容器包装類へ貼付 チラシ等広告用紙に印刷 その他 (具体的に：)
	証票の作成方法	印刷会社へ作成依頼 枚
6 市場評価	評価事業者	直売所の運営者、市場関係者、農協関係者、一般消費者、その他
(出荷した伝統野菜についての評価)	評価内容 (主な評価を記入)	

(様式3)

信州伝統野菜認定事業 認定申請取下げ書

令和 年 月 日

長野県知事

様

申請者

氏名又は名称及び代表者

住 所

令和 年 月 日に申請しました「信州の伝統野菜」伝承地栽培認定申請について、下記の理由により申請を取り下げます。

記

[申請取下げ理由]

--

(様式4)

認 定 書

信州伝統野菜認定事業実施要綱第12条の規定により、「信州の伝統野菜」伝承地栽培認定基準に適合する野菜であることを認定します。

記

1 申請者名

2 申請者の住所

3 野菜の名称

4 認定期間

年 月 日から 年 月 日

5 認定番号

6 認定の条件

・認定の内容は申請書記載のとおりとする。

様

令和 年 月 日

長野県知事〇〇〇〇

印

